

関西電力のパンフレットの誇大広告に対する苦情申立

関西電力のパンフレット「関西電力のプルサーマル計画について」記載の「MOX燃料の利用実績について」は誇大広告であり、苦情を申し立てます

社団法人日本広告審査機構御中

関西電力の広告に苦情を申し立てます

関西電力が発行するパンフレット「関西電力のプルサーマル計画」は誇大広告の疑いがあります。特に7ページの「MOX燃料の利用実績について」は、今現在も多くの国々でプルサーマルが実施されているかのような印象を与えようとするものです。

プルサーマルがよいものとは一般市民は受け止めていません。ウランを燃料とする原発にプルトニウム燃料をあえて入れるプルサーマルには、リサイクルの意識というよりむしろ危険をこそ感じています。通常商品は買う人もあり、買わない人もありますが、電気についてはくらしになくてはならないものです。一旦事故やトラブルがあれば広く大きな影響を及ぼします。誰もが必ず買う電気であり、しかも消費者は電力会社を選ぶことができないのですから、関西電力は公共性が高く、社会的責任も大きいといえます。誰もが必ず払っている電気代からこのような一方的な広告がなされていることは大きな問題です。このような宣伝に疑問を持っている人は多く、今回口コミで大きく広がり、連名での苦情を申し立てることになりました。関西電力に改善を強く求めるものです。

MOX燃料の利用実績は誇大広告であるとする理由

パンフレットの「MOX燃料の利用実績について」のはじめに以下の説明があります。

「海外では6,000体以上の実績」

海外では、わが国と同様、国内エネルギー資源に比較的乏しいフランスをはじめドイツ、アメリカなどで、数多くのMOX燃料の利用実績があります。

これまで50基以上の原子炉で6,000体以上のMOX燃料が利用されています。

また、視覚的にもっともアピールするのは2つのグラフで、その縦軸にはそれぞれ、「装荷プラント数」、「装荷体数」と書かれています。これを見た人はだれも、現在実施されている基数や体数だと思ってしまうでしょう。実際、このグラフが宣伝のポイントになっていることは、たとえば、関西電力のホームページにある同じ趣旨の宣伝で、装荷体数のグラフだけが使われていることから明らかです。

(関西電力ホームページでの宣伝 <http://www.kepco.co.jp/plu/17.html>)

パンフ7ページに掲載の表と対比させてみると、それらは累積を示していると分かるでしょうが、そこまで読みとる人はあまりいないと思われます。

その上、表の累積数を強調すること自体が誇大広告になっていることは、下記のように実態に照らして見れば明らかになります。

(1) 同じページに掲載の「各国の軽水炉におけるMOX燃料の利用実績」(出所：資源エネルギー庁「原子力2009」、2008年12月現在)表を見ると、たしかに58基の原子炉で6,350体のMOX

燃料が使われた実績はあり、そのこと自体は間違いではないでしょう。

しかし、表をよく見るとプルサーマル計画がすでに終了したものが 21 基含まれています。また、累積装荷体数を見ると、何年もの装荷期間の中で 1~8 体と少数を装荷しただけで終わったもの 12 基が含まれています。それらも加えて数多くの利用実績があると宣伝するのは無理がありません。

- (2) また、数多くの利用実績にアメリカを入れるのは間違いです。表によればアメリカでは 7 基の原子炉でプルサーマルが行われましたが、6 基は 70 年代、80 年代に計画が終了しており、その後プルサーマルが広がる傾向はまったくなく、アメリカではプルサーマルは過去のものとなる表です。唯一「カトーバ 1」という原子炉で 2005 年に MOX 燃料が装荷されましたが、これはむしろ特殊なもので、しかも 4 体を一度装荷しただけで新たに装荷する計画はありません。
- (3) さらに表からは、イタリア、インド、オランダ、スウェーデンではプルサーマルを行ったことはあるけれど、現在は利用していないと受け止めることができます。ベルギーも現在は利用していないはずです。

以上のことから、「各国の軽水炉における MOX 燃料の利用実績」の表からわかることは、10 ヶ国、50 基以上の原発で MOX 燃料を利用したことはあるが、

58 基のうち、すでに 21 基はプルサーマルを終了しており、多く見積もっても、現在もプルサーマルを行っているのは 37 基です。

アメリカの実績は、過去のもので、「カトーバ 1」はデューク電力会社が撤退を表明しており、「数多くの利用実績」の中に含めるのは無理があります。

その後もプルサーマルを選択している国は主にフランスとドイツ、およびスイスぐらいであるといえるのではないのでしょうか。

全世界で運転中の原発は 436 基です。その内、プルサーマルを実施しているのは 37 基で、わずか 8.5%にすぎず、広い目で見ると、「多くの利用実績」とは言えません。

プルサーマルがよいものであれば、その原発で計画が終了したとしても、他に引き継がれて利用が広がるはずではないのでしょうか。利用実績の表はむしろプルサーマルは過去のものであることを示しているといえます。

したがって、「数多くの MOX 燃料の利用実績があります」との宣伝の方法は、あたかも現在においても多くの国が多くの MOX 燃料を使用しているかのような印象を消費者に与えるもので、一方的で誇大な広告です。

関西電力に強く改善を求めるものです。よろしく願いいたします。

2010年12月22日

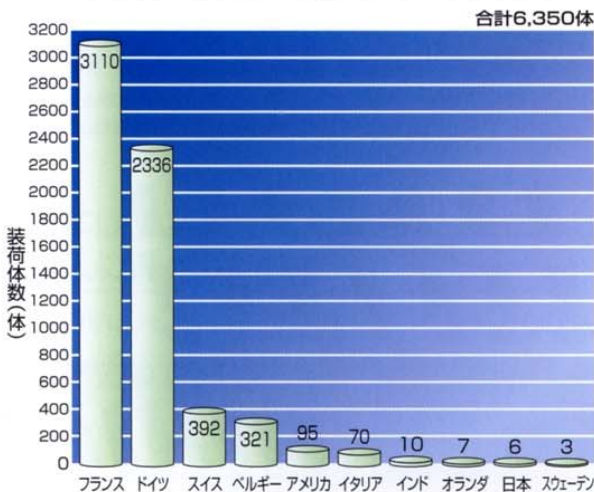
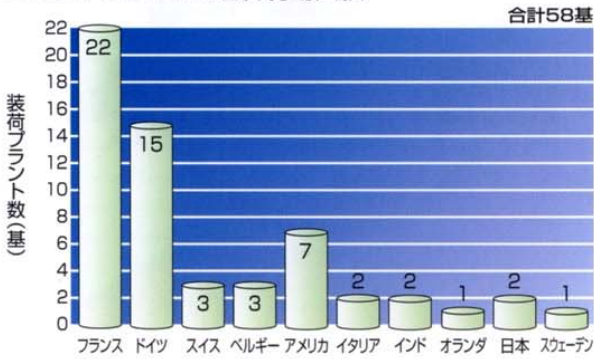
苦情申立人：89名

MOX燃料の利用実績について

海外では6,000体以上の実績

海外では、わが国と同様、国内エネルギー資源に比較的乏しいフランスをはじめドイツ、アメリカなどで、数多くのMOX燃料の利用実績があります。これまで50基以上の原子炉で6,000体以上のMOX燃料が利用されています。

■軽水炉でのMOX燃料利用実績



出所:「原子力2009」(2008年12月末現在)

MOX燃料の加工工場

現段階ではまだわが国に軽水炉用のMOX燃料の加工工場がないことなどにより、海外の工場加工を行います。なお、日本原燃(株)が国内でのMOX燃料加工工場の建設を計画しています。

■MOX燃料加工施設の概要

国名	設置者	設置場所(施設名)	設備能力(tHM/年)
フランス	AREVA NC	マルクール(メロックス)	195
イギリス	NDA	セラフィールド(SMP)	72

SMP: Sellafield MOX Plant

出所: IAEAホームページ
[Nuclear Fuel Information Systems]

■各国の軽水炉におけるMOX燃料の利用実績

国名	発電所名	炉型	電気出力(MWe)	装荷期間	累積装荷体数	
日本	敦賀1	BWR	357	1986~1990	2	
	美浜1	PWR	340	1988~1991	4	
フランス	ルブレイE1	PWR	951	1997~	88	
	ルブレイE2	PWR	951	1994~	180	
	シノンB1	PWR	919	2000~	72	
	シノンB2	PWR	919	1999~	84	
	シノンB3	PWR	970	1999~	120	
	シノンB4	PWR	970	1998~	120	
	ダンピエール1	PWR	937	1990~	208	
	ダンピエール2	PWR	937	1993~	128	
	ダンピエール3	PWR	937	1998~	96	
	ダンピエール4	PWR	937	1998~	112	
	グラブリーヌB1	PWR	951	1997~	120	
	グラブリーヌB2	PWR	951	1998~	100	
	グラブリーヌB3	PWR	957	1989~	264	
	グラブリーヌB4	PWR	957	1989~	192	
	グラブリーヌB6	PWR	957	2008~	8	
	サンローランB1	PWR	921	1987~	256	
	サンローランB2	PWR	921	1988~	216	
	トリカスタン1	PWR	955	1997~	168	
	トリカスタン2	PWR	955	1996~	196	
	トリカスタン3	PWR	955	1996~	188	
	トリカスタン4	PWR	955	1997~	172	
	ショーセナ	PWR	320	1974~1991	22	
ドイツ	カールVAK	BWR	16	1966~1985	113	
	リンゲン	BWR	268	1970~1972	1	
	グンドレミンゲンA	BWR	250	1974~1980	64	
	グンドレミンゲンB	BWR	1,344	1996~	504	
	グンドレミンゲンC	BWR	1,344	1995~	360	
	エムスラント	PWR	1,363	2004~	64	
	ネッカー1	PWR	840	1982~1992	32	
	ネッカー2	PWR	1,395	1998~	68	
	グラーフラインフェルト	PWR	1,345	1985~	164	
	イザール2	PWR	1,475	1998~	128	
	オプリッヒハイム	PWR	357	1972~2003	78	
	ブロックドルフ	PWR	1,365	1989~	224	
グローンデ	PWR	1,430	1988~	124		
ウンターペーザー	PWR	1,410	1984~	212		
フィリップスブルグ2	PWR	1,424	1988~	200		
スイス	ベツナウ1	PWR	380	1978~	124	
	ベツナウ2	PWR	380	1984~	108	
	ゲスゲン	PWR	1,020	1997~	160	
ベルギー	BR3モル	PWR	12	1963~1987	177	
	ドール3	PWR	1,056	1995~	96	
アメリカ	チアンジュ2	PWR	941	1995~	48	
	ドレスデン1	BWR	210	1967~1976	15	
イタリア	ビッグロックポイント	BWR	75	1969~1978	53	
	クオドシティーズ1	BWR	833	1974~1981	5	
	カトーバ1	PWR	1,205	2005~	4	
	サクストン	PWR	4	1965~1972	10	
	サンオノフレ1	PWR	456	1970~1973	4	
インド	R.E.ギネー	PWR	498	1980~1985	4	
	ガリリヤノ	BWR	160	1968~1981	62	
オランダ	トリノ	PWR	270	1975~1978	8	
	ベルツェレス	PWR	160	1994~2000	2	
スウェーデン	タラプール1	BWR	160	1996~2000	8	
	タラプール2	BWR	160	1996~2000	8	
オランダ	ドーデバルト	BWR	58	1971~1987	7	
スウェーデン	オスカーシャム1	BWR	465	1974~1979	3	
合計					58基	6,350体

BWR: 沸騰水型 PWR: 加圧水型

出所:「原子力2009」(2008年12月末現在)



メロックス社 メロックス工場 (フランス)